

テーマ名 タイヤの将来を国際調和・社会負担・トライボロジから占う

日時 2016年5月27日(金) 13:30~17:20

会場 アネックスホール F203

概要

自動車性能を決定づけるタイヤについて、その技術の進む方向に関する新しいまとまった知見を一般に公開する。  
 タイヤ騒音特設委員会は、道路交通騒音の主役となっているタイヤ放射音と、それに関連する諸々のタイヤ特性や関連技術情報の収集を行っている。  
 2015年春季大会で公開した基本情報に加え、今回は、環境問題取り組みの基本となる社会的コストの考え方、マイクロ技術に踏み込んだゴムの摩擦解析、氷上摩擦特性の知見を公開する。さらに、ISOの当該委員会主要メンバーを欧州から迎えて、欧州での路面とタイヤ協調による騒音や転がり抵抗改善プロジェクトの成果を世界の第一人者から紹介する。  
 最後に国際商品であるタイヤに関する技術の方向について意見交換を行う。  
 今後の自動車設計・道路行政への情報発信となることを期待している。

企画委員会 タイヤ騒音特設委員会

プログラム

開始時間	終了時間	司会／挨拶／講演者／パネリスト等	演題	氏名	勤務先名
13:30	13:40	挨拶	開会のあいさつと委員会活動	石濱 正男	神奈川工科大学
13:40	13:50	司会	概要・解説	藤田 仁	日本道路株式会社
13:50	14:15	講演者	各種の冬用タイヤの騒音特性と転がり抵抗 Noise and rolling resistance of various types of winter tires	Ulf Sandberg	Swedish National Road and Transport Research Institute
14:15	14:40	講演者	タイヤ路面騒音と転がり抵抗に関する2つの欧州プロジェクトである、LEOならびにNordTyreについての報告 Report of 2 European projects , LEO and NorgTyre ,on tyre/road noise and rolling resistance	Truls Berge	SINTEF ICT,
14:40	15:05	講演者	フランス運輸科学技研での12種路面上転がり抵抗試験 ROSANNE Rolling resistance round robin test&draft standard preparation	Johan MAECK	Belgian Road Research Centre
15:05	15:30	講演者	車両とタイヤ試験用テストコース各面の設計法 Best Practices to Design and Construct Pavements at Proving Grounds to Improve Vehicle and Tire Testing	Robert Rasmussen	The Transtec Group, Inc.
15:30	15:50		休憩		
15:50	16:15	講演者	自動車騒音の社会的費用(Social cost)について	金子 成彦	東京大学大学院
16:15	16:40	講演者	タイヤと路面間の摩擦モデルの研究動向とその課題について	田中 展	大阪大学大学院
16:40	17:00	講演者	タイヤの氷上性能	二瓶 光弥	国立研究開発法人産業技術総合研究所
17:00	17:20	司会	質疑・応答	石濱 正男	神奈川工科大学